



# 中学部 国語科 一題材の実践と振り返り

題材名:『FUTOKU タイムス』で、経験したことや伝えたいことが相手にわかるように、順番や伝える内容を考えて壁新聞を書こう

授業者: 松尾 佳保

## 学習指導要領の段階と内容

## 題材目標

小学部3段階 B 書くこと  
 知・技 :イ(ア) 物事の始めと終わりなど、情報と情報との関係について理解すること。  
 思・判・表:イ 見聞きしたり、経験したりしたことから、伝えたい事柄の順序を考えること。  
 学び :言葉がもつよさを感じるとともに、図書に親しみ、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとする。

知・技 『FUTOKUタイムス』で、新聞の記事を書く時、順番を表す言葉の働き(意味)がわかり、出来事の順序に沿って順番を表す言葉を書く  
 思・判・表 3つの出来事を時系列で書く時、出来事と結果とのつながりについて考え、それぞれの場面に合う順番を表す言葉を判断し、順番を表す言葉を使って、出来事を時系列で書く  
 学び 経験した様々なことについて順番を表す言葉を用いて、出来事の順序に沿って書く

## 授業づくりの手順

- 前題材までの到達状況から表出像を列挙する
- 列挙した表出像を段階化する
- 段階化した表出像の一覧から、グループの在籍生徒それぞれの指導内容の範囲を決定する

※表出像…思考から判断の過程を経た結果、未知の課題を解決する児童生徒の姿

指導内容の範囲となった表出像に必要な知識及び技能を列挙する

各児童(生徒)の指導内容(知・技)の習得のために知識及び技能の内容を細分化・段階化する

細分化・段階化した知識及び技能の一覧と題材終了時までの表出像を実態表の項目として、児童(生徒)の実態を把握する

実態把握の結果から、中心として取り上げる知識及び技能を決定する

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

題材開始

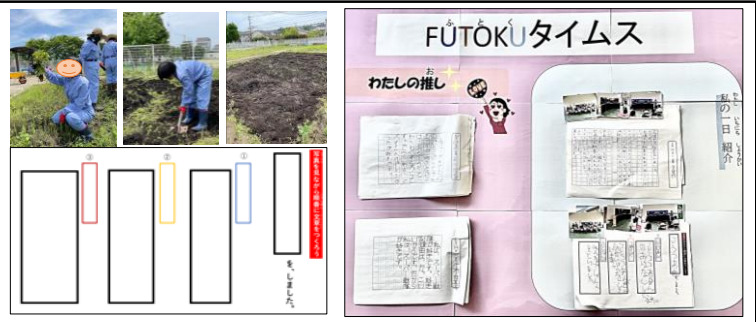
R研で毎時間の授業の評価・改善

題材終了

観点別評価の実施

## 教材と仕組み

経験したことや自分の好きなものについて文章を書き、グループ全員で壁新聞『FUTOKUタイムス』を作成する  
 『FUTOKUタイムス』  
 ①学習場面や運動会など、経験したことの文章を書く  
 ②それぞれが書いた文章を発表する  
 ③書いた文章を、壁新聞『FUTOKUタイムス』に貼って掲示する



観点	評価
知・技	3つの出来事の写真を時系列に並べ替えて、その順に順番を表す言葉を書き入れることができるようになった
思・判・表	3つ出来事の写真を時系列に並べ、順番を表すの言葉を使って、出来事を時系列で書くことができるようになった
主体的な姿	経験したことのある様々な場面の写真を見て、時系列に並べ、順番を表す言葉を使って出来事の順序に沿って文章を書く姿が見られた



## 出来事とその結果に目が向くような場面を扱う

経験したことがある出来事の写真を時系列に並べるようにしたが、写真の興味のあるものに目が向き、順番に並べることが難しいことがあった

情報を減らし順番に目が向くように、日常的な出来事で、出来事とその結果がわかりやすい3つのイラストを扱い、文章を考えるようにした



## 何の場面のことを書くのかを明確にする

出来事によっては、出来事に対する自分の思いを書いていた

①3つの出来事が、**続いて生じる場面**を確認する  
 ②出来事を時系列に並べかえる  
 ③それぞれの出来事の内容を文で書く  
 ④順番を表す言葉を書く



## 考察

- 経験したことで生徒の目を向けるポイントが違い、時系列に並べるのが難しいことが多かった。そこで、出来事とその結果とのつながりがわかりやすい出来事を取り扱い、イラストに変更して情報を減らしたことが、順番に目を向けることに有効であったと考える
- 出来事の写真を時系列で並べることができるように、どの場面で生じる出来事なのかを最初に伝えて書くようにすることで、出来事を時系列で書くことができたと考える
- 今後、より順序について理解を深めるために、手順書(折り紙など)を書き、書いたことを友だちにってもらうような教材を設定していく